

## 【熊本 SJCD 例会 抄録】

演題 「 前歯部審美障害に対し

ボンディッドレストレーションで対応した症例」

演者名 関 喜英

日付 2017年2月28日

keyword 1. 歯間離開  
2. 診断用ワックスアップ、モックアップ  
3. ボンディッドレストレーション

### 【抄録】

前歯部の審美性に不満を持っている患者への処置方針は、その原因や状態、そして患者自身の審美的な要求と治療に対する希望などを基にして決定される。治療は、補綴、矯正、外科などを単独か、それぞれを組み合わせで行うが、出来るだけシンプルで侵襲が少なく、かつ効果的で、予後も良い治療結果を目指さなければならない。そのためには、診査・診断、診断用ワックスアップ、モックアップという流れの中で、患者とコミュニケーションを重ねながら患者の審美的要求や機能を確認していき、最終補綴物に移行することが重要である。

今回発表するのは上下前歯部の数カ所に歯間離開があり、コンポジットレジン、ラミネートベニア、オールセラミッククラウンの補綴処置のみで審美性を獲得した症例である。2015年の例会で同じテーマで2症例発表したが、その時に上顎前歯の補綴セットまでの進行途中で報告した症例の全処置が完了したので改めて発表したいと思う。

諸先生方の忌憚のないご意見を頂き、今後の自分の臨床に生かしていきたい。